

明治八年
大阪
錦商
新聞
第十九号

盗ま
めを
解き

やむく是ハ東京まで去年のこの
事をり。女心の浅州馬道猿智
恵たむ猿寺地内。二入りトシハ
寡婦と下女。女主人ハ下女小曲
主とさせて。他所を歸りて家と
見ま。燈火消して。下女ハ
柱小まぐりて。簾筒ハあけて品物
取らして有ゆ。やがて女主人ハ繩と解き
委細と問ハカ下女ハ盗賊進入して
程もあ。カ盗賊ハ一と進。聞より
けハ盗賊と。合組せし。好計と。さ
身と投し井戸にも物泥と下女の
欲ち我海ハ中るま



女主人ハ氣の毒。思ひ居
正情堂九化記
あ己文板

50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90

